

- 「日中河川及び水資源交流会議」の一行7名が、小渋ダム及び美和ダムの堆砂対策施設を現地視察しました。
- 土砂バイパストンネルやストックヤードなど、日本でも先進的なダムの堆砂対策に取り組んでいる両ダムの現場を熱心に視察され、有効的なダム管理等について意見を交わしました。

※「日中河川及び水資源交流会議」とは

日中両国の河川及びダム、水資源問題について研究発表、意見交換を行い、両国の河川・水資源行政・技術の向上および相互の利益の増進を図ることを目的として、昭和60年より開催している会議。

【視察日】 平成30年12月11日(火) 11:00～16:00

【視察場所】 小渋ダム及び美和ダム

【視察メンバー】

中国水利水電科学研究院 6名

北京市水務局 1名 合計7名

＜視察団からの主な意見や感想＞

- ◇小渋 ○美和
- ◇土砂バイパスを流れる土砂の粒径、流速、摩耗対策についての計画上の考え方と実際の状況はどの程度か。
- ◇民間砂利採取等のコスト削減策や貯水池への土砂流入によるゲートへの影響などはどの程度か。
- 美和ダム堆砂対策システムは非常に高度であると感じた。
- 洪水時の水の流れや土砂の流下形態に非常に興味を持たれ、様々な意見や質問がありました。



小渋ダムBPトンネルの説明状況



美和ダム堆砂対策の説明状況



美和ダムBPトンネル吐口で記念撮影